

地区別計画推進研修会（2月5日）について（報告）

2月5日開催の地区別計画推進研修会について報告します。

日 時 平成29年2月5日（日） 10:00 ～ 12:00
場 所 瀬谷区役所5階 会議室A B
参加者数 85名（地域63名、その他22名）
講 師 静岡福祉大学 社会福祉学部健康福祉学科
教授 西尾 敦史 氏



内 容

1. 趣旨説明

- ・現役の働き世代も参加できるようにとのアンケート結果により、日曜日の開催とした。
- ・日常の活動そのものが地区別計画推進の取組であり、新たな活動を始めるのではない。
- ・地域活動における「PDCA サイクル」による振り返りは、緩やかなもので十分である。
- ・1年間の取組をまとめた「かわら版」は、PDCA サイクルのC（振り返り）に相当する。

2. 講義 「誰もが活動に参加する地域づくり」～推進とふりかえり（PDCA）サイクルで（要旨）

- ・瀬谷区の地域福祉保健計画の基本理念「みんなで作るみんなのしあわせ」とは、一人が幸せになるのではなく、みんなが幸せになること。福祉とは言い換えると「幸せ」ということ。この計画は大きな目標を掲げ具体的な活動が盛り込まれている。住民が主体で、作り手で、担い手で、受け手である。
- ・計画は自転車が走り続けることに例えられる。私たちの生活を1年サイクルで回るように、計画も1年で例えると、シンポジウムはC（振り返り）にあたる。
- ・PDCAサイクルを毎年同じように進めていけるわけではない。社会の環境も変わる。同じ自転車の漕ぎ方では進みにくい。計画も同じ。社会が大きく変わり、「個人化」が課題である。
- ・希薄になった縁を見守りやサロンなど地域の活動により、なじみ関係や交友関係を作っていくこと＝（絆を創る）絆創膏の考え方でつながりを広めていきたい。
- ・南瀬谷地区の「みなみせやサポーターズ」の取組を紹介。自主企画としてみなみせやウォークを行った。ウォークは誰もが参加しやすく、地域の魅力が再発見できる。C（振り返り）や今後の予定と課題A（見直し）が行われた。担い手の声を聞くことで活動とニーズが合っているのかどうか確認することができる。取組は「あいさつ運動」へと広がっていった。
- ・こういったサイクルをそれぞれの地区の取組に置き換えて進めていければよいと思う。
- ・行政・専門職の支援として、横浜にはケアプラザがある。住民主体の力として地域福祉保健計画がある。地域力を高めるには、行政や専門職が何でもやってしまうのではなく、自分たちで課題を解決しようとする力が必要である。
- ・地域活動の発展形として、サロンを例にすると、初期は参加しやすさ、お客さんの気安さが必要だが、発展期には相互で何かする、お客さんではなくお互いに役割を見つける。そして充実期にはノンプログラム期として自分たちで活動する。
- ・「地域活動のふりかえりダイヤグラム」として、6つの項目について、自分たちの活動に置き換えて考えてみてほしい。
- ・「ヘルパーセラピー原則」人のためにやっている、地域のためにやっていることが自分への有用感、尊重感につながっている。

アンケート結果 回答数63名

(1) 懇談会の内容は、今後の地区別計画推進に役立てることが出来ますか？

とても役立てることができる (44) 少し役立てることができる (13) 無回答 (6)

(2) 土曜日や日曜日の開催について、最もあてはまるものに、○をつけてください

- ①毎回、土日に開催してほしい (7) ②年1回は土日に開催してほしい (22)
③毎回、平日に開催してほしい (7) ④いつでもよい (22)
⑤その他 (毎回日曜日にしてほしい、いつでもよいが午前中に開催してほしい)

(3) 本日の研修会の感想、今後の研修会についての希望、現在の活動で感じていること等 (抜粋)

【研修会の感想】

- 大変わかりやすく、系統だったお話で参考になった。今後の計画に反映させていきたい。
- ヘルパーセラピー原則は、確かにその通りだと思う。
- 行事毎にPDCAを回す大切さを感じた。
- 他の地区の問題ではなく、身近な問題として大変役に立てる話が多く、特に気にとまった事は、ノンプログラムを取り込む事をやって行きたいと思った。
- よく理解できた。今後も楽しくボランティアを続けていきたいと思った。
- 日々の生活を振り返り、考え方や行動に役に立つお話だった。

【今後の研修会についての希望】

- 地域で取り組まなければいけないことに、多くのきっかけをいただいた。講師により考え方、話し方の違いもあると思うので、同じような内容でも、研修会を開催してほしい。
- 話し方、具体的な例などわかりやすく説明されていたので良かった。日曜開催だったが、参加者はいつもと同じような気がしたので、できれば平日の方がありがたい。

【現在の活動で感じていること】

- PDCAの考え方で推進していけば、少しずつでも向上していけるのではと、道が見えてきた。
- 西尾先生のお話が分かりやすく、みんなで幸せを進める保健計画の取組手法、PDCAサイクルを行いながら一つずつ確認し地域活動を進めていきたいと思う。
- 地域活動を行う際の自分の立ち位置や役割の再認識をすることができた。
- 参加しやすい態勢を整えて仲間を増やすように進めている。
- 地域活動の担い手の世代交代をどうしたらスムーズに行うことができるのか。
- どこの活動でも感じることだが、人手が足りないということ。課題が残る。
- 大変参考になった。実践してきて感じることは、参加しない人をどうすくいあげるかが一番の課題。

以上